

第34回中国ミニバスケットボール交歓大会（鳥取大会）出場報告書

楠バスケットボールスポーツ少年団

勝原芳徳

期日：平成26年12月26～28日

場所：鳥取県民体育館

結果：予選リーグ 楠 44（28－9、16－13）22 古志原（島根）
楠 32（13－9、19－12）21 住吉（鳥取）
準決勝 楠 36（12－6、24－9）15 矢賀（広島）
決勝 楠 42（14－27、28－29）56 法吉（島根）

チームの結成は9年前、旧楠町の頃から続いた船木ミニと万倉ミニが人数不足で活動が困難になり合併し新たに楠バスケットボールスポーツ少年団として初めての中国大会に出場となりました。

チームは5つの心と記して五心（素直・反省・感謝・謙虚・奉仕）を理念に活動をしてきました。苦しい時期もありましたが子ども、指導者、保護者で地道に活動してきたことが中国大会出場につながったと感じています。

日々、指導者として子ども達と活動させてもらう中で子ども達の成長には驚かされる場面がたくさんあります。このチームも新人戦の頃は何も考えずにプレイしていましたがチームの目標が「全国大会出場」になってからの子ども達の成長ぶりには目を見張るものがありました。また、県決勝大会の結果で中国大会出場となった1ヶ月の短い期間でも一人ひとりが役割を感じ、チームの為に役に立とうと精神的にもひと回り成長した子ども達の姿に頼もしさすら感じることもありました。

常に自分達の最高の目標に向かって努力してきましたが子ども達に達成させてやれなかったことに関して指導者として反省することの多かった1年となりました。しかしながら中国ブロックの強豪チームとの戦いで準優勝という結果が出せたことは素直に嬉しく思い、この経験を生かし日々の活動に努めたいと思います。

最後になりましたがこの大会出場にあたり小林会長をはじめ、福谷副会長、派遣審判員の方々、鳥取県役員の方々、補助員の子ども達に大変お世話になり、山口県内のチーム、宇部市協会、卒団生、地元多くの方々に応援、ご支援して頂いたことに感謝し、この場をお借りしてお礼申し上げます。ありがとうございました。



第34回中国ミニバスケットボール交歓大会（鳥取大会）に出場して

楠バスケットボールスポーツ少年団

主将 吉田光唯奈

私たちは背の低さを補う為にスピードとディフェンスで頑張り、一人ひとりが持っている技をもっと生かす為に日々の練習を取り組んできました。私たちチームの夢は『全国大会出場』でした。しかし、その夢は叶わなかったけど中国大会に出場することができました。そして次の夢となった『中国大会優勝』に向かってみんなができる限りの力を振り絞って試合に臨みました。

初日は古志原（島根）と住吉（鳥取）と戦いました。何とか2勝することができ、次の日の準決勝に進出することができました。準決勝は矢賀（広島）と戦いました。矢賀は4番と6番は背が高く全体的にスピードのあるチームでした。私たちは粘り強くディフェンスをして勝つことができました。決勝は法吉（島根）でした。強そうなオーラが私たちにも伝わってきたけど強気で立ち向かいました。前半は13点リードされてしまいましたが後半は逆転を狙いファウルの多かった4番と5番を攻めました。しかし、入れても入れ返される展開で差が詰まらなく優勝までは届きませんでした。しかし、夢に向かって自分達の全力のプレイをやった結果なので良かったと思いました。

中国大会に出場までできたのは指導者、保護者のおかげだと思います。

楠ミニバスに最後までたくさんの応援をありがとうございました。

